

2024年12月29日
12月第五主日礼拝式



113 心に感謝をもちながら

心に感謝をもちながら

主の庭(にわ)に入ろう

新しい日は主がつくられた

ともに喜び歌おう

賛美しよう 感謝しよう

ともに喜び歌おう——

賛美しよう 感謝しよう ともに喜び歌おう

「来たれ イエスを」

来たれ

イエスを れいはいしよう

み前にひざまずこう

何にも代(か)えがたい

イエスのりんざい

今 ここにあふれてる

新聖歌171番 「今日まで守られ」

- 1 今日まで守られ 来たりしわが身
露(つゆ)だに憂(うれ)えじ 行くすえなどは
いかなる折(おり)にも 愛なる神は
すべての事をば 善(よ)きにしたまわん
- 2 か弱き者をも かえりみたもう
わが主の恵みは この身にたれり
賑(にぎ)おう里(さと)にも 寂しき野にも
主の手にすがりて 喜び進まん
- 3 主の日ぞいよいよ まぢかに迫る うきよの旅路も
しばしの間(ま)のみ 間もなく栄えの みくにに行きて
永遠(ときわ)にたえせず わが主と住まわん アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌172番 「望みも消え行くまでに」

- 1 望みも消え行くまでに 世(よ)の嵐に悩むとき
数えてみよ主の恵み 汝(な)が心は安きを得(え)ん
* 数えよ主の恵み 数えよ主の恵み
数えよひとつずつ 数えてみよ主の恵み
- 2 主のたまいし十字架を にないきれず沈(しず)むとき
数えてみよ主の恵み つぶやきなど いかであらん
* (くりかえし)
- 3 世の楽しみ 富(とみ) 知識 汝(な)が心をさそうとき
数えてみよ主の恵み あまつ国の幸(さち)に酔わん
* (くりかえし) アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌62番 「天(あま)つみ民も」

天(あま)つ み民も

地にある者も

父 子 御霊(みたま)の神をたたえよ

神をたたえよ

アーメン